

I 校 訓 「自立・協同・敬愛」

II 学校教育目標

ふるさとを愛し、夢や希望を持ち、自らを高める奥佐津っ子の育成

～考えよう 挑戦しよう やりぬこう～

めざす児童像

- 夢や目標を持ち、実現に向け挑戦する子
- 自ら学び、進んで行動し、仲間とともに高め合う子
- 豊かな心を持ち、自他を大切にする子
- 体を鍛え、がまん強く最後までやりぬく子

①おきな声で あいさつ・へんじ ②ふうしよう 自分で考え 仲間と伝え合い
③いごまで あきらめず つづけよう!

めざす学校像

- 元気なあいさつが響き合い、
人権文化の高い学校
- 家庭・地域に開かれ、協働する学校
- 安全・安心な学校

めざす教師像

- 教育への熱い願いをもち、
子どもとともに学ぶ教師
- 人権感覚を磨き、
指導力の向上に努める教師
- 危機管理意識の強い教師

III 学校教育の視点

私たち教職員は、強い使命感と高い倫理観を持ち、子どもたちはもちろん保護者・地域住民から寄せられる期待や信頼に応える責務がある。確かな指導力と資質能力の向上に絶えず努めながら、一人一人の子どもの持つよさや可能性を伸ばし、夢や希望の実現を支援する。

そのため、小規模校の「強み」である個に応じたきめ細やかな指導を進めると共に、複式授業の充実に努め、「主体的・対話的で 深い学び」の実現に向け、全教職員の参画と協働による充実した学校運営を推進する。さらに、学校間スーパー連携チャレンジプランを一層充実させ、教育効果を高める。

〈学校づくり 5つの視点〉

- ① 子どもを中心に学び合い、高め合い、笑顔があふれる学校づくりに努める。
- ② 安心・安全な学校づくりを推進する。
- ③ 保護者や地域の願いを真摯に受け止め、連携し、開かれた学校づくりを行う。
- ④ 地域の人や豊かな自然、文化、歴史等の恵まれた教育環境、資源を活かす学校づくりを推進する。
- ⑤ 働き方改革を意識し、「チーム奥佐津」として教職員が協働する学校づくりを行う。

IV 校内研修テーマ

学び合い、はたらきかける奥佐津っ子の育成 ～算数科複式授業におけるガイド学習の工夫～

V 具体的な取組—「生きる力」を育む—知・徳・体の調和がとれた人間の育成

(1) 学校で学ぶ

確かな学力づくり (知)	豊かな心づくり (徳)	健やかな体づくり (体)
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎・基本の確実な習得と、活用して課題を解決するために必要な力の育成に努める。 ○ 児童が見通しを持って学習し、自らの学びを実感できる振り返りを行うなど、主体的に学ぶ授業づくりを推進する。 ○ 少人数の利点を活かし、個に応じたきめ細やかな指導を推進する。 ○ 指導と評価の一体化を図る。 ○ ICT を活用した学習指導を充実させる。 ○ 読書環境を整備し、言語活動の充実を図る。 <p>【他校との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校間スーパー連携チャレンジプラン」の評価・検証を行い、実効性を向上させる。 <p>【地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の教育資源の活用、外部講師の招聘等、多様な教育活動を推進する。 	<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「特別の教科 道徳」の充実に向け、教科書や副読本等の活用を図ると共に、地域教材の開発、資料の共有化を進める。 ○ 体験活動を充実させ、自他の命の尊重、共生の心を育成すると共に、「とちの実学級」の理念を継承し、人権教育の充実を図る。 ○ 異年齢集団での活動、幼小連携した活動等を通して思いやりの心、自己有用感を醸成する。 ○ 子どもと向き合う時間の確保に努め、児童との人間関係の構築・深化を図る。 ○ 言語環境の整備、教師自身の人権感覚の研磨等に努め、人権意識の高揚を図る。 ○ 地域の災害特性を踏まえた防災教育を充実させ、危機管理意識と防災リテラシーの向上を図る。 <p>【家庭・地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭・地域と連携した基本的な生活習慣（あいさつ、返事、手伝い等）の定着を図る。 ○ ネット依存やネットトラブル等に関する新しい情報を発信し、情報モラルの指導徹底を図る。 	<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体育授業の充実に努め、基礎体力の向上を図り、運動好きな子どもを育てる。 ○ 休憩時間を活用した継続的な体力づくり（奥小タイム）を推進し、生涯スポーツに資する運動の習慣化を図る。 ○ 外遊びを推進する。 ○ 健康・安全の指導を徹底し、生命尊重の精神を養う。 ○ 健康教育、食に関する教育を推進し望ましい生活習慣・食習慣の確立を図る。 ○ 健康について家庭への積極的な情報発信と連携に努める。 ○ 特別支援コーディネーターを中心に全教職員で連携し、子どもの特性に応じた指導を充実させる。 <p>【他校・地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各種大会への参加により体力の向上と個性の伸長を図る。

(2) 家庭で育てる

<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の習慣化をめざし、家庭訪問・学級懇談会等で情報交流し、個に応じたきめ細かな家庭学習の指導に努める。 ○ 家庭読書・親子読書を推進する。（兵庫版道徳副読本の活用） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣（挨拶、返事、手伝い等）の定着を図る。 ○ 社会規範の基礎（善悪の判断・公共心等）を継続的に指導し、身につけさせる。 ○ 地域行事やボランティア活動等への積極的参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化と睡眠時間の確保に努める。 ○ バランスの良い食事・排便の習慣化、スポーツや外遊び、集団遊びへの支援に努める。
---	--	---

(3) 地域で育む

<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の人・自然・文化・歴史等を学ぶ活動を通して地域への理解・愛着を深める。 ○ オープンスクールや学校版教育環境会議等、開かれた学校づくりを推進する。 ○ 各種ボランティアの支援・協力の輪を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域行事、ボランティア活動等への積極的参加を推進する。 ○ 地域全体でのあいさつ運動に取り組む。 ○ 土曜チャレンジ学習での体験活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツクラブ21による諸活動への積極的参加を推進する。 ○ 地域のスポーツ行事への積極的参加を促す。
---	---	--

